

令和元年度の学校評価に関するアンケートの集約結果について

1 自己評価（職員アンケート）の結果について

- ・回答数は 26（小学部 8、中学部 8、高等部 9、養護教諭 1 ※校長、教頭、事務職を除く）、回収率は 100%で昨年度と同じであった。
- ・各項目の評価平均の最大値は 3.8 ポイント（昨年度と同じ）、最小値は 2.7 ポイント（昨年度は 2.6 ポイント）であった。4 段階評価の中央値（2.5 ポイント）を下回った項目はなかった。
- ・達成率の最大値は 100.0%（昨年度と同じ）、最小値は 61.5%（昨年度は 50.0%）であった。
- ・達成率が 70%以下の項目は、NO.8、15、16、17 の 4 項目（昨年度は、NO.5、8、15、17、19、29、38、39 の 8 項目）。
- ・昨年度の達成率より 10%以上数値が上昇した項目は、NO.1、2、5、19、29、38、39 の 7 項目。
- ・一方、昨年度の達成率より 10%以上数値が下降した項目は、NO.9、13、21、32、34 の 5 項目。
- ・分野によって差はあるが、各分野ともに自由記述があった。記述内容を確認し、必要に応じて改善策を検討することにした。

2 保護者アンケートの結果について

- ・回答数は 53（1名は白紙であったため、有効回答数は 52）、回収率は、96.4%であった。ちなみに、昨年度の回答数は 46（1名は白紙であったため、有効回答数は 45）で、回収率は 86.8%であった。
- ・各項目の評価平均の最大値は 3.9 ポイント（昨年度は 3.8 ポイント）、最小値は 3.5 ポイント（昨年度は 3.2 ポイント）であった。4 段階評価の中央値（2.5 ポイント）を下回った項目はなかった。
- ・達成率の最大値は 100.0%（昨年度と同じ）、最小値は 88.5%（昨年度は 84.4%）であった。
- ・達成率が 70%以下の項目はなかった。
- ・昨年度の達成率より 10%以上数値が上昇した項目はなかった。
※NO.12～19 は、数値は 10%以上上昇しているが、昨年度と算出方法を変更したことによる誤差の範囲であるため、上昇とは捉えないことにした。

〔算出方法を変更した理由〕

NO.12～19 は、アンケート用紙の裏面に記載していたが、無回答者が 52 名中 7 名おり、この数を母数に含めると、達成率に影響が出て正確な数値を求められないと判断したため。

〔達成率を求める算出方法の変更について〕

昨年度：達成率 = 各個人の評価の合計 ÷ 回収数（無回答も含む）

今年度：達成率 = 各個人の評価の合計 ÷ 回答数（無回答を含まない）

- ・一方、昨年度の達成率より 10%以上数値が下降した項目もなかった。
- ・分野によって差はあるが、各分野ともに自由記述があり、特に「教育活動」と「学校運営全般」に関しては、多くの意見が書かれていた。記述内容を確認し、必要に応じて改善策を検討することにした。

3 改善策を検討する項目について

- ・自己評価（職員アンケート）及び保護者アンケートともに、評価平均が 4 段階評価の中央値（2.5 ポイント）を下回った項目はなかったため、達成率が 70%以下の項目について改善策を検討する。
 - 職員アンケートの NO.8、15、16、17
 - 保護者アンケートは該当項目なし
- ・自己評価（職員アンケート）及び保護者アンケートの自由記述の内容を見て、必要に応じて改善策を検討する。

4 具体的な改善策（素案）

（1）自己評価（職員アンケート）に関して

①達成率が70%以下の項目に関して

項目	改善策	担当者
NO.8 働き方改革 評価平均 2.8 達成率 65.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムレコーダーによる出退勤時刻の記録から勤務状況を把握する。【継続】 ・各部で定時退庁日（My Life デイ）を設定し、時間外労働を減らす努力をする。【継続】 ・次の項目について、研究日を有効に活用しながら、総合的に業務の改善策を検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ①校内研究の課題を明確にし、改善策を検討する。 ②教育課程に関して、年間指導計画についての問題点を明確にし、改善策を検討する。 ③行事の設定について検討する。 ④個別の教育支援計画や個別の指導計画、通知表についての問題点を明確にし、改善策を検討する。 ⑤業務改善に向けたアンケート結果を基に、大学と協働しながら改善策を検討する。 ★業務改善に向けたアンケート：実施済み ⑥分掌業務に関する問題点を明確にし、改善策を検討する。 	教頭、校長 部主事 以下の部署を中心に全職員 研究部 教務部 教務部 部主事 教頭 教頭、分掌主任
NO.15 個別の教育支援計画 評価平均 2.7 達成率 61.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・様式を変更し、より活用しやすくする。【継続】 ・運用上の問題点を明確にし、改善策を検討する。 ※NO.8 への改善策と並行して行う。 ★新様式及び運用方法の提案：実施済み	部主事 部主事
NO.16 個別の指導計画 評価平均 2.7 達成率 61.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・様式を見直し、より活用しやすくする。【継続】 ・運用上の問題点を明確にし、改善策を検討する。 ※NO.8 の改善策と並行して行う。 ★新様式及び運用方法の提案：実施済み	部主事 部主事
NO.17 道徳教育 評価平均 2.8 達成率 65.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究で教育課程を見直す際に、道徳教育の全体計画や指導内容、指導方法などについて整理する。 ・教育センターの出前講座を活用するなど、外部講師による研修会の実施を検討する。 	研究部、全職員 研究部

②自由記述の内容に関して

項目	改善策	担当者
NO.5 分掌組織の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任や分掌主任などの業務量に配慮して校内人事を行う。【継続】 ・分掌業務に関する問題点を明確にし、改善策を検討する。 ※NO.8 の改善策と並行して行う。 	校長、教頭 部主事 教頭、分掌主任
NO.18 自立活動の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方法について、校内研究の検討事項の一つに挙げ、学校としての方向性を明確にする。 	研究部、全職員
NO.19 キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に、キャリア教育の全体計画について全職員で確認する。 	研究部
NO.25 豊かな生活に関する指導	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・マネジメントの一つとして、校外学習の目的や実施方法、時期、回数などについて全体で検討し、学校としての方向性を明確にする。 ※NO.8 の改善策と並行して行う。 	研究部、教務部を中心 に全職員
NO.30 事故・ヒヤリハット	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み中は交代で見守りを行うなど、事故を未然に防ぐための対策を検討する。 	部主事、全職員
NO.31 交流及び共同学習	<ul style="list-style-type: none"> ・交流及び共同学習について、目的や実施方法、回数、必要性の有無などについて検討し、全体で確認する。 ※NO.8 の改善策と並行して行う。 	小学部、中学部、 高等部
NO.32 施設・設備の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・高等部職員室にプリンターを設置できないか、予算面も含めて検討する。 ★業者との契約済み。機材搬入待ち。 	校長、係長
NO.33 施設・設備の安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・猫の侵入を防ぐネットや柵を拡張できないか、予算面も含めて検討する。【継続】 	校長、係長
NO.38 人権に関する研修	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修を毎年実施する。 	服務規律委員会 人権担当者
NO.40 現職教育	<ul style="list-style-type: none"> ・現職教育として行う研修を整理し、計画的に実施する。 	研究部、各分掌部
NO.41 授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究の一環として研究授業や授業研究会を実施する。可能であれば、大学の職員にも参加してもらう。 	研究部
NO.43 研修への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センターで行われる研修講座を紹介するとともに、年度当初に受講者を調整する。 	研究部、部主事
NO.48 学校公開	<ul style="list-style-type: none"> ・のびのび教室の際に、入学者選考とは関係のないことを明確に伝える。 ・学校公開の際に、のびのび教室は関係のないことを明確に伝える。 	教育支援部 教務部
NO.49 保護者からの相談への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・現職教育として行う研修を整理し、計画的に実施する。【再掲】 	研究部、各分掌部
学校運営全般 入学者選考	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の上半期までに、入学者選考に関する基本方針や選考方法（検査の内容含む）などについて再度検討し、方向性を明確にする。 	教務部 入学者選考委員会

(2) 保護者アンケートに関して

①達成率が70%以下の項目に関して

- ・該当項目なし

②自由記述の内容に関して

項目	改善策	担当者
NO.1 学校行事 授業参観、中学部宿泊 学習を含む	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・マネジメントの一つとして、校外学習の目的や実施方法、時期、回数などについて全体で検討し、学校としての方向性を明確にする。 ※職員アンケート NO.8 の改善策と並行して行う。【再掲】 ・授業参観の実施方法について検討する。 	研究部、教務部を 中心に全職員 小学部
NO.5 教育活動の創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習の内容や作成する品物、バザーの商品などについて検討する。 	高等部
NO.7 豊かな生活に関する 指導	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動（外国語科）の必要性について検討する。 	小学部、中学部、 高等部
NO.11 交流及び共同学習	<ul style="list-style-type: none"> ・交流及び共同学習について、目的や実施方法、回数、必要性の有無などについて検討し、全体で確認する。 ※職員アンケート NO.8 の改善策と並行して行う。【再掲】 	小学部、中学部、 高等部
その他 災害時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の備蓄品の購入等を検討する。 ・避難訓練に加え、災害発生後の対応についての訓練や体験学習の実施を検討する。 ※職員アンケート NO.8 の改善策と並行して行う。【再掲】 	危機管理委員会 育友会 指導部、各部 全職員
その他 登校時刻	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の学級（学部）懇談会の際に、児童生徒の登校時刻について保護者に説明し、理解を促す。 ・育友会総会の際に再度説明をし、理解を促す。 ・年度途中に登校時刻が早くなってきた場合には、部主事が個別に再度確認をして念を押す。 ・やむを得ない理由がある場合には、個別対応の可否を検討する。 【全て継続】	部主事 教頭 部主事 部主事